

製品の保証・標準使用期間について

お使いの製品が取扱説明書、本体記載の注意ラベル等による正常なご使用状態のもとで不具合が発生した場合、下記保証期間をご参照の上、購入店または下記記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

1. 保証項目・期間

外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色	1年
機構部・可動部	回転機構部・可動部の故障	2年
構造体	強度・構造体に関わる破損	3年

※保証項目は、日本国内においてのみ有効とさせていただきます。

※この期間は、通常の状態で使用された場合を想定して定めたものですので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をするとするところでの保証期間ではありません。

※保証期間経過後の修理については、有償とさせていただきます。

2. 保証対象外

保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。

- ・火災、天災による故障または破損。
- ・改造や不当な修理または使用者の責任に帰すると認められる故障または損傷。

3. JOIFA標準使用期間

棚(固定式)標準使用期間:10年

※JOIFA標準使用期間は耐用年数・保証期間ではありません。

お問合せ先

TEL:096-355-1111(本社)

受付時間 月～金 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00

(土・日・祝日・年末年始・夏季休暇等を除く)

安心と先進で社会文化に貢献する



www.kongo-corp.co.jp

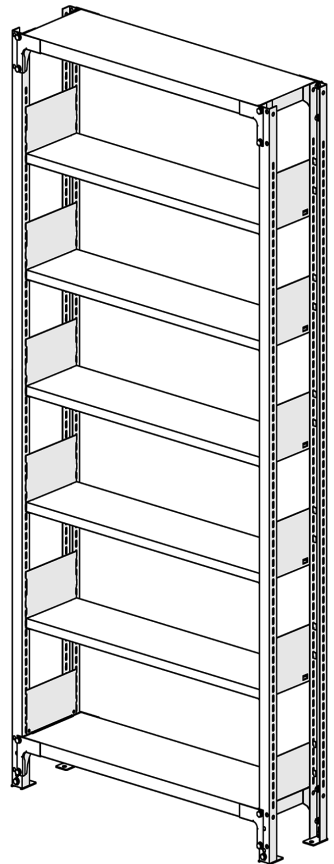
取扱説明書

書架 RKU

※組み立て前にこの取扱説明書を必ずお読みください。組み立て後は取扱説明書を大切に保管してください。

機種	構成部材(棚1台分の内容物)		
	部材名	〈基本型〉	〈連結型〉
1	支柱	4本	2本
2	基礎	4枚	2枚
3	天地板	2枚	
4	棚板	(天地段数-2)枚	
5	棚受	(棚板枚数×2)枚	
6	側受	2枚	
7	棚本体用ボルト(SW付) M8×20	20セット	18セット
8	棚本体用ナット M8	16ヶ	
9	壁固定金具	2ヶ	1ヶ
10	天ツナギ取付金具	2ヶ	1ヶ
11	天ツナギ取付金具用ボルト(SW付) M8×20	2ヶ	1ヶ
12	天ツナギ取付金具用ナット M8	2ヶ	1ヶ
13	壁固定金具用ボルト(SW付) M8×20	2ヶ	1ヶ
14	オールアンカー	6本	3本
15	ラベルシール	2枚	

※最初に必要な部材が揃っているか確認ください。追加連結の場合、部材数量に余りが出る場合があります。



安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

- 床固定・天ツナギ・壁固定などの転倒防止装置を外して使わないでください。棚が転倒してけがをすることがあります。
- 収納物を棚から突き出して収納しないでください。荷崩れによってけがをすることがあります。
- ボルトやねじのゆるみ、支柱の変形などの異常を発見したまま使用しないでください。製品が壊れてけがをすることがあります。
- 棚通路での作業中、もしも地震や火災に遭遇した場合は直ちに棚通路から退出してください。荷崩れによってけがをすることがあります。
- 廃棄するときは、専門業者にお任せください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。
- 分解・修理・移動は専門業者にお任せください。転倒などの事故になることがあります。

注意 人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

〈組み立て・設置について〉

- 狭い場所での作業は避け、床や他の家具などにキズがつかないように丁寧に扱ってください。
- 必ず純正品を使ってください。純正品でないと、十分な強度が得られません。
- 必ず平らな場所へ設置してください。床が不安定だと、棚が転倒することがあります。また、棚板を踏み台代わりにしたり、上に乗ったりしないでください。

〈使用について〉

- 棚板に耐荷重以上のものを収納しないでください。棚板が落下してけがをすることがあります。荷物は一か所に偏らず平均的に載せてください。集中荷重をかけると棚板に無理が生じて破損するおそれがあります。
- 天板の上に物を載せないでください。収納物が落下してけがをすることがあります。
- 天地板及び棚板に手足をかけた、登ったりしないでください。棚板が落下してけがをすることがあります。
- 棚板への収納物の積み下ろしは丁寧にこなしてください。棚板が外れてけがをすることがあります。
- 本体の上に乗らないでください。転倒してけがをすることがあります。

- 可動部の隙間に手を入れないでください。けがをすることがあります。
- 棚板の位置を変更する場合は、軍手などの保護具を使用してください。けがをすることがあります。
- 棚板などの塗装面には、傷をつけないよう注意してください。錆発生の原因となります。
- 部品の位置(上下左右)を確認の上、正しく使ってください。部品を逆向きに使用するとけがをすることがあります。
- 危険物(壊れ物、薬品、生物など)を収納しないでください。人や衣服などを傷つけることがあります。
- 清掃をおこなう場合は、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。塗装が変色したり剥げたりします。
- 分解や改造をしないでください。破損やけがをすることがあります。
- 乱暴な取り扱いや用途以外の使用は避けてください。けがをすることがあります。
- 火のそばに近づけて使用しないでください。火災になることがあります。
- 製品に不具合や不明な点がありましたら、早めに弊社へご連絡してください。



2名



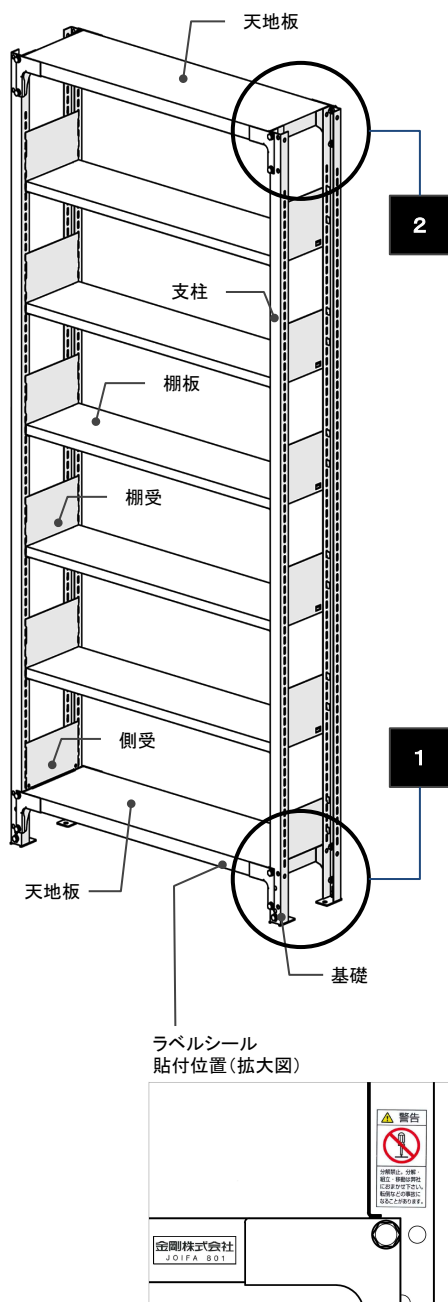
スパナレンチ:13mm径(M8用)
(ホームセンター等でお買い求めください。)



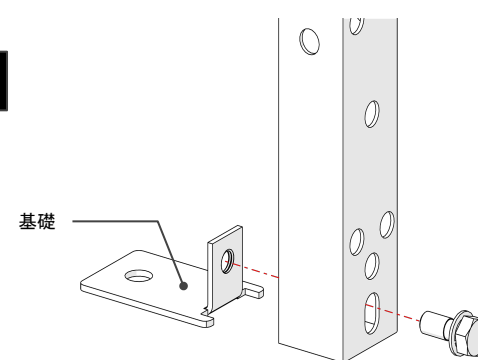
電動式インパクトドライバーを
ご使用いただくと、より簡単に
組み立てることができます。

組立説明

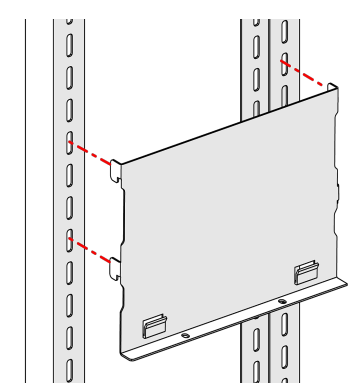
完成イメージ



1 4本の支柱の内側に基礎をはめ込み、M8ボルト(SW付)にて固定します。この場合、基礎にはネジが切っており、ナットは不要です。

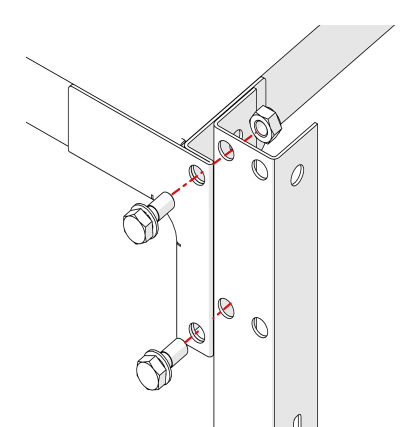


3 支柱の袖孔に棚受を商品サイズに応じて、順次取り付けます。



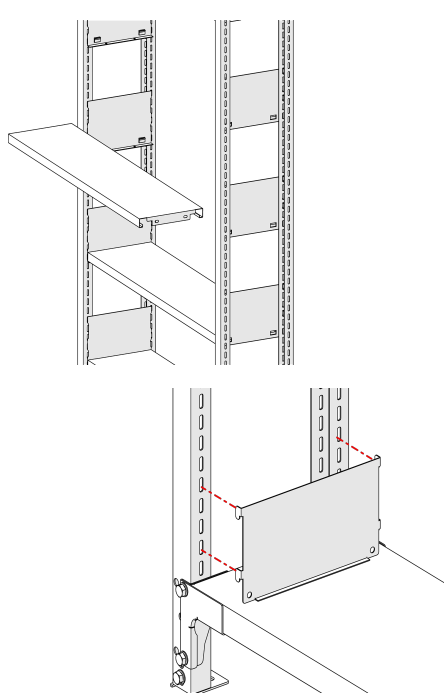
POINT 左右の棚受の高さがずれると、棚板変形・落下の危険性があります。支柱孔を数えながら棚受を設置するとスムーズに取り付けできます。

2 4本の支柱に天地板をM8ボルト(SW付)・ナットにて組み付けます。



POINT 4本の支柱と天地板は、ボルト・ナットで仮止め(軽く締め付け)にし、棚の水平を確認した後、本締め(十分に締め付け)します。

4 棚板を棚受に載せ、天地板の左右に側受を取り付けて完成です。

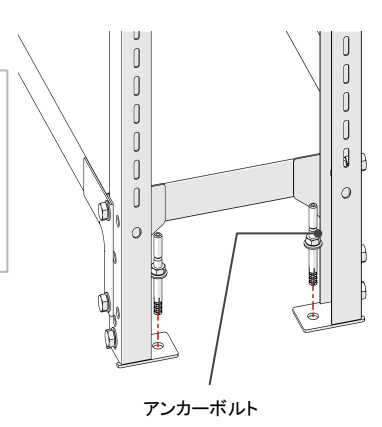


※棚は立てた状態でも、横に寝かせた状態でも組み立て可能です。組立場所の広さに応じ、ご判断ください。(本説明書では棚を立てた状態で図解しております。)

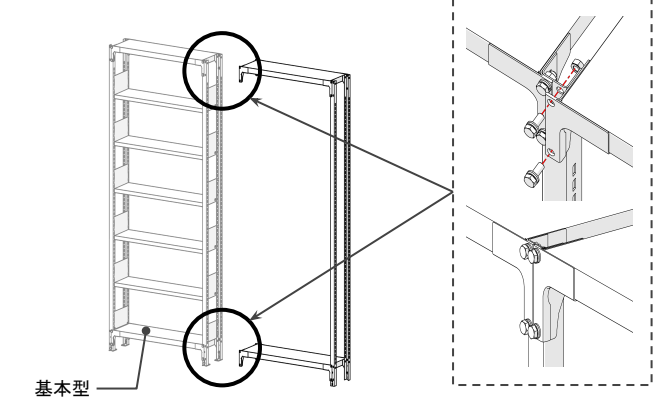
床固定・壁固定は専門業者にお任せください。

床固定 基礎部にアンカーボルト(M8×50mm)を固定します。

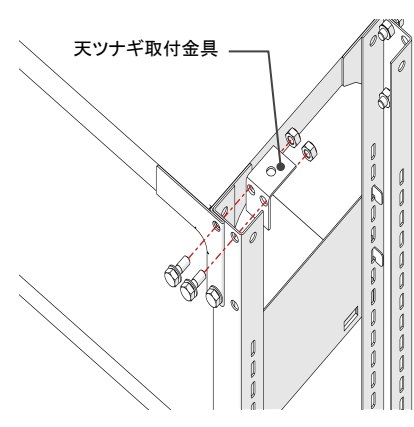
注意: OAフロアや木製床などの場合、十分な強度が得られない場合があります。床面の強度をご確認ください。



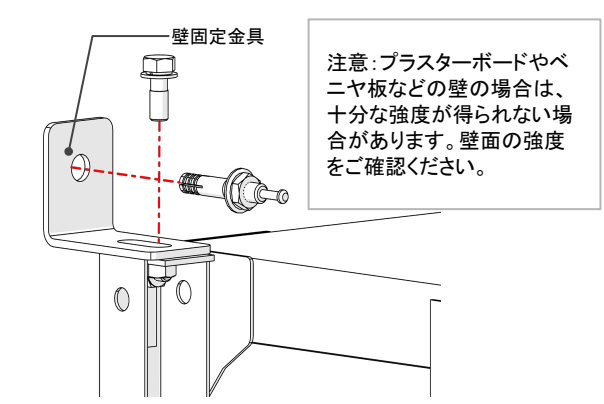
追加連結 左記の組立説明**1****2**の手順で、追加する2本の支柱と天地板を組み付け、座金組込ボルト・ナットで基本型に取り付けます。



壁固定 **1** 天ツナギ取付金具を座金組付ボルト・ナットで天板に固定します。



2 壁固定金具を**1**で固定した天ツナギ取付金具に取り付け、アンカーボルトで壁に固定します。



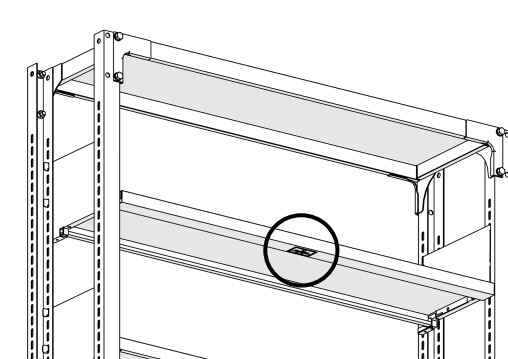
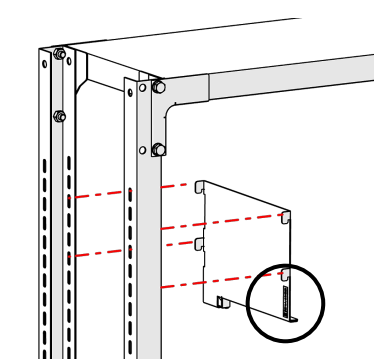
注意: プラスターボードやベニヤ板などの壁の場合は、十分な強度が得られない場合があります。壁面の強度をご確認ください。

傾斜スライド棚(オプション)

傾斜スライド棚セット構成部材 (1セットあたりの内容物)		
1	傾斜スライド棚板	1枚
2	専用棚受	右用、左用各1枚
3	背受	1本

※最初に必要な部材が揃っているか確認ください。

1 上段部へ専用棚受を取り付け、傾斜スライド棚板を載せます。



POINT 傾斜スライド棚板及び専用棚板はそれぞれに貼付のラベル(図中○部)をご確認の上、前後を正しくお取り付けください。

2 図の支柱孔の位置(壁面側)へ背受を取り付けます。

